

平成20年度日野市教育委員会の教育目標・基本方針・主な推進施策

平成20年3月27日 日野市教育委員会
※は新事業

教育目標	キーワード(理念)	基本方針	主な推進施策	平成20年度主な事業名
ひらこう世界へ のびようと つくりよう夢を こえよう自分を	地球	【国際社会に生きる日本人の育成と地域に根ざした教育の推進】 国際化が進む今日、広く国際社会に目を向け、国際平和に貢献できる人間の育成とその土台となる教育が求められている。 そのために、日本人としての自覚を深め、国や地域に対する誇りと愛着を育むとともに、多様な文化に対する理解を図り国際理解教育を推進する。	学校における英語活動を支援する。 食の大切さ、楽しさがわかる教育を推進する。 日本の文化や伝統を大切にしたい教育を推進する。 地域社会との交流や地域の自然や文化等を生かせるよう授業を工夫・改善する。 生涯学習社会を視野に入れ、学校週5日制の趣旨が十分に生かせるよう、地域における児童・生徒の活動を支援する。	- 学校教育基本構想の作成(学) - 外国人英語指導補助員の派遣(学) ※英語活動カリキュラム作成 - 中学生による国内留学プロジェクト(学) - 食育の推進(学) - テーブルマナー教室・味覚教室(学) - 日野の郷土教育推進研究・普及(セ) - 地域職場体験(学) - 環境に配慮した取組み(ひのっ子エコアクション)(庶・学)
	共生	【「人」として生きる人権教育と心の教育の推進】 多様な人々が共に暮らす日野市にあって、全ての大人や子どもが人権尊重の理念を正しく理解するとともに、他を思いやり、社会生活のルールを身に付け、共に生きようとする精神を育むことが求められる。 そのために、人権教育及び心の教育を充実するとともに、様々な人々との交流活動を推進する。	学校における教育活動全体を通して人種・民族・国籍・性別等あらゆる偏見や差別をなくす人権教育を徹底する。 いじめ防止に向けた取り組みの教育課程への位置づけ 学校・家庭・地域社会との連携による開かれた道徳教育を推進する。 特別支援教育の充実を図る。 不登校児童・生徒の実態を的確に把握し、社会的自立に向けて適切な支援を講ずる。	- 人権教育理解推進委員会(学) - いじめ撲滅強化月間を定め、啓発活動を実施する(学) - 道徳授業地区公開講座(学) ※特別支援教育推進チームの設置(巡回相談、専門委員会、推進委員会)(学) ※リソースティーチャーの配置(学) ※特別支援教育の市民啓発研修会 ※特別支援教育コーディネーター研修の充実(学) ※就学相談委員会による適正就学の充実(学) ※スクールカウンセラー小・中学校配置(学) ※幼稚園に保育カウンセラー配置(学) ※言語障害学級の開設(日野三小)(学) - 日野市立教育センターの相談機能の充実(セ) ※適応指導教室の拡充と指導内容の充実(セ) ※問題を抱える子ども等の自立支援事業(学) ※不登校児童・生徒対象のe-Learning実施(セ・室) ※適応指導教室・教育相談のICT環境整備(セ) ※教員研修の充実、e-Learning研修実施(学・セ・室) ※学独自非常勤講師の配置(学) ※教育の質の向上を目指した校務支援システムの運用(庶・学・室) ※授業改善の推進、授業改善推進校(学・室) ※授業力向上を目指す2・3年次研修及び4年次研修の実施(学・セ) ※若手職員育成の中心となる授業力向上リーダー研修(学) ※研究奨励事業(学・セ・室) ※小学コンピュータ教室全校40台の実施(庶・室)
	創造	【「個性」や「創造力」の伸長と「基礎・基本」の確実な定着】 子どもを取り巻く環境や社会の変化、国際化の流れに対応できるよう、子ども一人ひとりの思考力、判断力、表現力などの資質・能力を育成することが求められる。 そのために、基礎学力の充実を図り、子どもたちの個性や創造力を伸ばすための教育を推進するとともに、地域の自然や文化に関心をもち、自ら進んでかかわろうとする資質や態度を育む。	教員の資質・能力の向上を図る。 基礎的・基本的な学力の定着を図るために、指導及び評価の充実・改善を図る。 問題解決的な学習過程を重視するとともに、思考力・判断力・表現力の育成に努める。 体験を通して、地域の自然や文化を愛し、地域から学ぼうとする資質や態度を育む。 児童・生徒の心と体の健康づくりを促進する。 学校教育の充実・改善について、開かれた施策づくりに努める。 義務教育に円滑に移行するための就学前教育を充実する。	- 体力調査の実施(学) - サポートチーム(生徒指導総合推進)(学) - 生徒指導推進協議会の配置(学) - 部活動の充実・振興(学) - 特色ある学校部活動奨励補助金(学) - 全校で小・中連携の取組(学) - 幼・小連携委員会(学) - 学校運営改善プログラムの作成(学) - 平山小コミュニティスクール(学) - 特色ある教育課程(カリキュラム)の研究・普及(セ) ※学校説明会の実施(学) ※長期学校公開の実施(学) ※学校評価の実施・公開 ※学校評議員制度の実施(学) ※学校Webサイトの充実(学) ※市政協力員(学校図書館)の配置(学) ※明星大学・東京学芸大学学生インターンシップ事業(学) ※学生ボランティアの派遣(学) ※市政協力員(社会人講師)派遣制度(学) ※介助員の派遣(学) ※七生線小増築・耐震補強・大規模改修工事(庶) ※日野一中建て替え(平成19～20年度)(庶) ※児童・生徒用椅子整備事業(平成25年度まで)(庶) ※校庭芝生化事業(東光寺小)(庶) ※小学校水栓直結給水事業(平成19～20年度)(庶) ※学校管理員の配置(小・中学校全校)(庶) ※日野市立教育センターの研究・情報収集発信事業(セ) ※「セーフティ教室」(警察署と連携した防犯訓練)(学) ※「日野市子ども安全サポートチーム」(学) ※「ひのっ子安全パトロール」(学) ※不審者情報のメール配信(庶・学) ※スクールガードリーダーの導入とスクールガードボランティア事業の充実(庶・学) ※防犯ブザーの配布 ※生涯学習のあり方の検討(文スポ) ※学術・文化・産業ネットワーク多摩との連携(文スポ)
	個	【「開かれた学校づくり」と「特色ある学校づくり」の推進】 子どもたちが未来に向かって夢や希望を抱き、その実現に向けて努力できるよう、家庭・学校・地域による協働と市民の教育への参画を進める。 そのために、「選べる学校制度」の趣旨を十分に踏まえ、各学校が自校のよさを発揮しながら「特色ある学校づくり」を推進するとともに、市民や保護者の視点に立った「開かれた学校づくり」を推進することによって、透明性の高い学校経営を進める。	校長の経営方針を明確にし、創意工夫に基づいた特色ある教育課程を構築するよう学校への指導・助言を行う。 学校運営について、保護者・地域住民の協力を得るなど、開かれた学校づくりを推進する。 学校Webを充実させ、見える学校づくりを推進する。 保護者、地域、学生による教育ボランティアの活用を図り、多様なニーズを抱えた学校への支援を行う。 子どもたちの安全で快適な学校環境を守っていくため学校施設・設備のリニューアルを進め、有効活用を図る。 情報発信、情報収集という市民サービスに加え、研究機能としての役割を持った教育センターで、日野市の教育の総合的な調査・研究を行う。 保護者、地域住民と一体となって危険を排除するためのシステム作り及び支援を行う。	- 講座、イベント、施設等ガイドの発行(文スポ) ※「図書館」のあり方を検討する(図) ※平山図書館新築オープン(図) ※万葉寺図書館開設準備(図) ※日野市関係新聞記事索引作成(図) ※学校図書館と市立図書館との連携(学校図書館連携システム、図書搬送)(図、学、庶) ※青少年関係資料の充実(図) ※児童施設への資料提供の拡充(図) ※日野市民文化祭(文スポ) ※情報弱者に対するICT学びの場の提供(豊田駅北交流センター)(文スポ) ※公民館基本計画の策定、ひの市民大学、情報技術講習、各種講座の開催(公) ※保育協力員制度(文スポ) ※第21回公民館まつりのリニューアル開催、昔遊び体験道場の実施(公) ※スポーツレクリエーションフェスティバル、ウォーキング、スポーツ教室、新体力測定、市民体育大会の開催(文スポ) ※復原住居等文化財施設の公開(文スポ) ※発掘調査出土品の公開(文スポ・資料館) ※学校への出張展示・解説(文スポ・資料館) ※文化財に関する市民の学習の支援(文スポ) ※文化財に関する普及・啓発事業の実施(文スポ) ※市民会館、大成荘、市民ギャラリーの運営(文スポ) ※公民館基本計画の策定(公) ※中央公民館高橋台分室事業の充実(公) ※学校施設開放事業(文スポ) ※小中学校等体育施設の開放(文スポ) ※学校体育施設の整備充実(文スポ) ※(仮称)市民の森ふれあいボール場にに向けた取り組み(文スポ) ※新グラウンドの設置(文スポ) ※既存体育施設の整備充実(文スポ) ※施設備品の充実(文スポ) ※障害者訪問学級(文スポ) ※少年学級、青年・成人学級(公) ※科学・英語教室など(文スポ) ※学校施設を利用した体験学習(公) ※体験学習会・エコクラブ事業の開催(資料館) ※遊び場開放(文スポ) ※ひのっ子体力アップ(文スポ) ※(仮称)日野健康スポーツクラブの設立準備(文スポ) ※ニュースポーツ、ジュニアスポーツの普及(文スポ) ※東京国体に向けた準備(文スポ) ※「土曜のひろば」(地域教育力活性化事業)開催(文スポ) ※ひの21世紀みらい塾(文スポ) ※文化財整備(文スポ) ※資料館収蔵資料の修復と保存・データ化(資料館) ※「第12回ひのアートフェスティバル」(公) ※日野市立図書館(図) ※特別展「勝五郎生まれ変わり物語展」開催(資料館) ※企画展「ふるさと日野の自然とくらし展」開催(資料館) ※幻の真慈寺調査(資料館) ※生まれ変わり物語一勝五郎伝承を語る(資料館) ※多摩島しよ子ども体験塾(文スポ) ※市民会館文化事業協会の充実(文スポ) ※日野市文化協会の支援(文スポ) ※子育て講座の開催(公) ※家庭教育学級(文スポ) ※高校生奨学金事業の拡充(庶)
ひのっ子教育 21 — 基本と先進的教育 — 生涯学習推進きらり日野人2010学びプラン「ひのっ子」から「日野人」への育成				
【一人ひとりの学びを豊かにするための取組み】 生涯学習の時代といわれる中で、一人ひとりの学びを豊かにするための取組みが求められている。 そのために、総合的な情報提供と発信ができるよう情報の拠点を整備しIT社会に対応できる体制を構築する。				
【ともに創る学びの仲間たちへの取組み】 ともに学び喜びを得るために学習拠点を整備することが求められている。 そのために、生涯学習センター、スポーツ施設などを整備する。				
【学びによるまちづくりをめざした取組み】 市民参画で生涯学習を推進し、ひのっ子が育ち日野人が活躍するまちづくりが求められている。 そのために、地域の人材を活用し、生涯学習を推進するための組織や育て支援のためのしくみをつくり、総合的な学習環境を充実する。				
【学びによるまちづくりをめざした取組み】 青少年育成関係団体への援助と青少年活動の指導者を育成する。 「ひのっ子」から「日野人」へ至る人材の育成と社会貢献の機会を創出す。 ・人材バンクとして「ひの21世紀みらい塾」を充実させる ・社会人講師や外部指導員の活躍の場を確保する 有形・無形の市内の文化財の保護と保存に努め、公開を通して活用する。 芸術・文化活動や文化団体を支援し、資料館を中心に新しい「日野文化」の創造をめざす。 日野らしさを踏まえ「芸術文化の薫るまち」の実現を目指す 家庭教育と子育て支援事業を充実する。				